

武生高校の新制服を作ろう！

福井県武生高等学校 探究文科2年

1. Abstract

Takefu High School's uniform hasn't changed for many years, and some students seem to be dissatisfied. We feel that the current school uniform is behind the times, both gender-wise and fashion-wise. Therefore, we decided to create a design proposal for a new uniform suitable for Takefu High School, including the opinions of the students. We interviewed other schools and uniform suppliers to investigate the process of changing uniforms. Next, we asked Takefu High School students about their dissatisfaction with current uniforms and their ideal image. A new design proposal was created from those surveys.

2. 要旨

武生高校の制服は長年変わっておらず、制服に不満を持つ生徒がいる。現在の武生高校の制服は、ジェンダー的にも時代的にも遅れている。そこで、生徒の意見を取り入れた、武生高校にふさわしい制服のデザイン案を作製することにした。まず、他校と制服業者にインタビューをし、制服変更の過程を調査した。次に、武生高校の生徒に、現在の制服の不満・理想の制服像を質問し、新しい制服のデザイン案を作製した。

3. はじめに

現在、県内外で学校制服の見直しが行われている。県内の高校では私服登校の試みをしている高校がある。そこで、そもそも武生高校生は制服を必要だと思っているのかについてアンケートを実施した。結果は287人のうち約90%の生徒が、制服は必要であると回答した。また、美方高校や勝山高校

などでは制服の改正が行われており、ジェンダーレス制服の導入が行われている。しかし武生高校では、女子の夏用制服の変更はあったが(1995年)、武生高校の制服は68年間変わっておらず、男子は学ラン、女子はブレザーというデザインで、それらはジェンダーレスという観点からはかなり遅れている。また、武生高校生の一部の女子生徒は、よく「武生高校の制服ダサすぎ」と口にしており、現在の制服に不満を持っている生徒がいる。そこで、私たちは武生高校の制服をよりよくしたい、と思い研究を始めることを決めた。

4. 問い

「生徒の意見を取り入れた、武生高校にふさわしい制服とはどのようなデザインか？」
この問いに対する研究結果をもとに、新しい制服のデザイン案を作製する。なお上記の「ふさわしい」と

は、武生高校の伝統や武生高校生として保つべき秩序を尊重することとする。

5.研究方法

主に次の2つのことを調査した。

調査1「制服変更はどのような過程で行われるのか」

調査 1-1 武生高校の現在(令和4年時点)の制服を取り扱っている山耕株式会社へ企業訪問

調査 1-2 県内外で制服を変更した高校の先生方にアンケートを実施

調査 2「武生高校の制服の改善すべき点はどこか」

・武生高校生全員を対象に2つのアンケートを実施

調査 2-1 武生高校生の制服への不満とはなにか

調査 2-2 武生高校生の理想の制服像とはどのようなものか

6.結果

調査 1-1 の結果

山耕株式会社への企業訪問の結果、制服変更は次の a から g の流れで行われている。

制服変更の流れ

- a 制服検討委員会の設置
- b 制服改定スケジュールの立案
- c 情報収集・方向性の設定
- d 商品見本によるデザイン検討
- e 素材・細部検討
- f 新制服発表
- g 採寸・納品検討

調査 1-2

県内:美方高校、勝山高校、丹生高校

県外:埼玉県立川越初雁高校、長崎県立大村高校、長崎県猶興館高校、長崎県島原高校、長崎県北陽台高校

制服を変更した県内3校、県外5校の先生方に
グーグルフォームを使用してアンケートを実施した。

アンケート項目

- ①制服を変更しようと思ったきっかけ
- ②制服変更までの過程
- ③制服変更までにかかった期間
- ④生徒の意見をどのくらい反映させたか
- ⑤制服のデザイン案をどのように作成したか
- ⑥制服を変更する際に何が一番大変だったか

調査 1-2 の結果

アンケートの回答として、ジェンダーレス制服の導入のため、学校の創立記念のため制服を変更したという意見が多く、制服変更までの流れはどの学校でもほとんど同じであった。また、制服変更までには短くて半年、長くて約2年、平均して約1年1か月かかることがわかった。

調査 2-1

武生高校の制服の不満として、以下のような意見が挙げられた。

女子(160人回答)

- ・冬リボンがダサい
- ・リボンは1つだけでよい
- ・冬のブレザーがダサい
- ・スカートが長い
- ・夏のブラウスが透ける

男子(106 人回答)

- ・ブレザーがよい

その他(6 人回答)

- ・今の制服は性差が感じやすい
- ・デザインを現代風にしてほしい

アンケートの結果、女子は武生高校の制服に対して多くの不満を持っているが、男子はあまり不満を持っていないことがわかった。女子の夏のブラウスがすけやすいという不満の声が多くあったが、企業訪問に伺った山耕株式会社によると、女子の夏のブラウスにはアルテースビエラという透け防止機能がある素材を使用しており、透けにくくはなっていることがわかった。また、女子のスカートの丈が長いという不満の声も多くあったが、風紀を守るために進学校のスカートの長さは膝下に決められていることもわかった。

調査 2-2

アンケートの結果(女子)

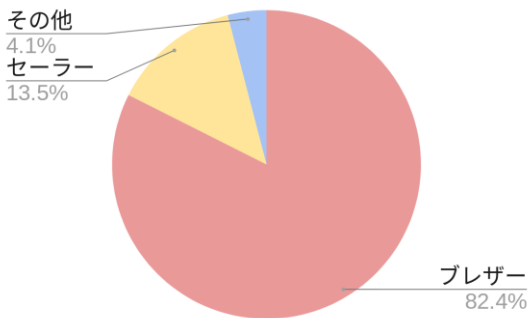


図 1 女子の理想の制服 (n=370)

アンケートに答えてくれた 370 人の女子生徒のうち、ブレザーがよいと答えた生徒が 305 人、セーラー服がよいと答えた生徒が 50 人、なんでもよいなどと答えたその他の生徒は 15 人であった。

次に、ブレザーがよいと答えた女子生徒の理想のスカートの柄、リボンの形、リボンの柄の結果である。

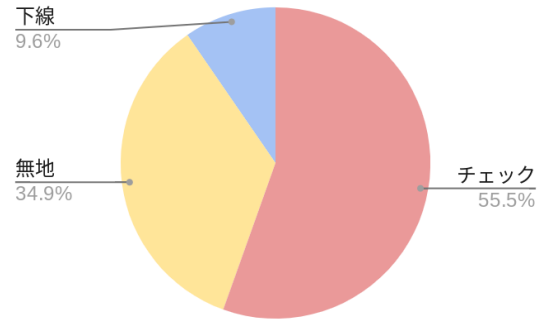


図 2 ブレザー選択の理想のスカートの柄 (n=305)

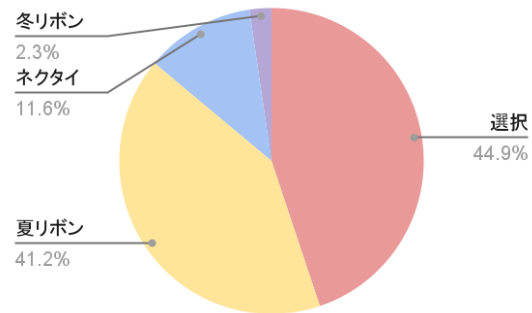


図 3 ブレザー選択の理想のリボンの形 (n=305)

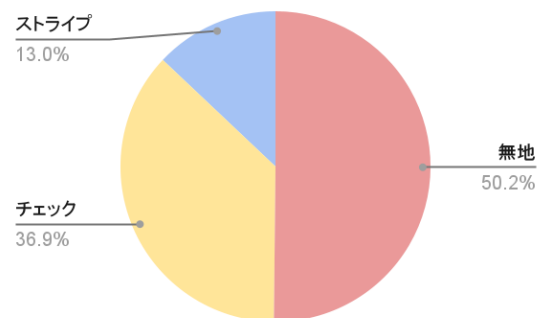


図 4 ブレザー選択の理想のリボンの柄 (n=305)

次に、セーラー服がいいと答えた女子生徒の理想のスカートの柄、リボンの形、リボンの柄の結果である。

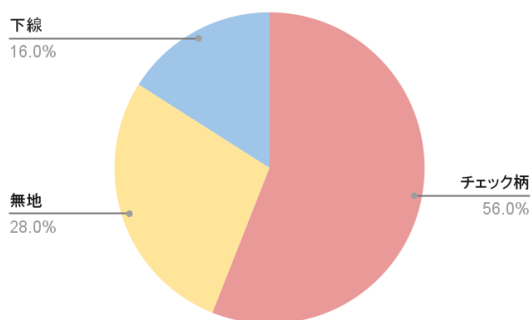


図 5 セーラー服選択者の理想のスカートの柄 (n=50)

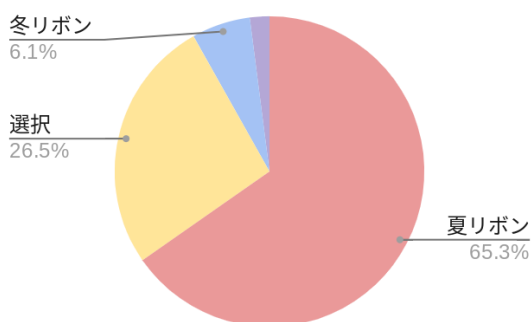


図 6 セーラー服選択者の理想のリボンの形 (n=50)

※選択とはリボンまたはネクタイのどちらかを選ぶということである。

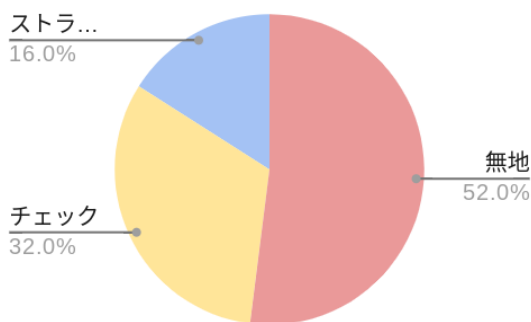


図 7 セーラー服選択者の理想のリボン柄
※ストラ:ストライプ (n=50)

回答してくれた 370 人の女子生徒のうち、最も意見の多かった組み合わせは、チェック柄のスカートに、チェック柄のリボンまたはネクタイの選択式のブレザーで、44 人の生徒が着たいと答えた。次に多かった意見として、無地のスカートに、無地の夏リボンのブレザーで、36 人の生徒が着たいと答えた。

以上のアンケート結果より、武生高校の女子生徒の多くは、今の武生高校の制服よりも現代の流行を取り入れた制服を着たいと考えていることがわかった。

次に、男子のアンケートの結果である。

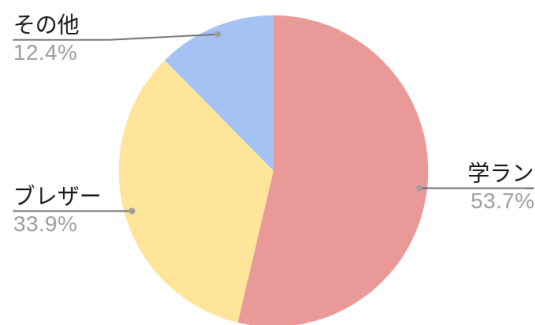


図 8 男子の理想の制服 (n=378)

回答してくれた 378 人の男子生徒のうち、学ランがいいと答えた生徒が 203 人、プレザーがいいと答えた生徒が 128 人、学ランでもプレザーでもどちらでもいいや、なんでもいい、私服や体操服などがいいと答えたその他の生徒が 47 人だった。

次に、男子生徒でプレザーを選択した人、学ランを選択した人の理想のズボンの柄である。

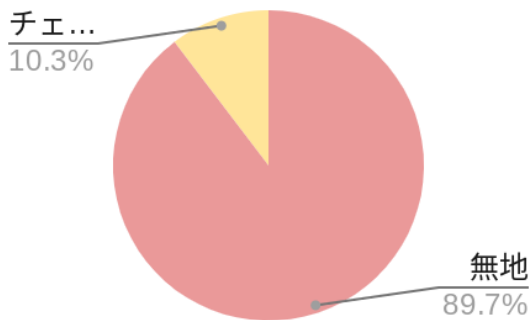


図9 学ラン選択者の理想のズボンの柄

※チェ:チェック (n=203)

最後にその他の人のアンケートの結果である。

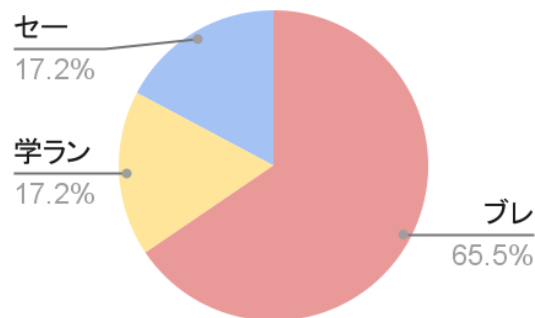


図11 その他の人の理想の制服像 (n=28)

※ブレ:ブレザー, セー:セーラー服

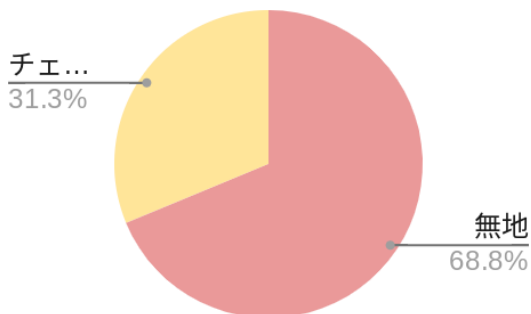


図10 ブレザー選択者の理想のズボンの柄

※チェ:チェック (n=128)

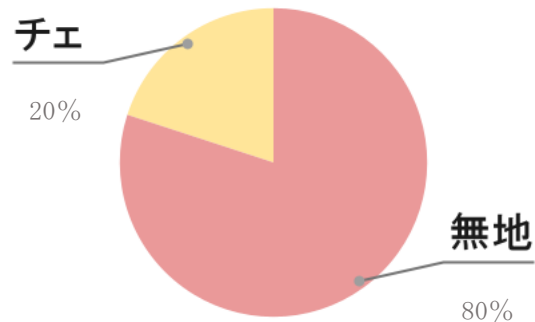


図12 学ラン選択者の理想のズボンの柄 (n=5)

※チェ:チェック

回答してくれた378人の男子生徒のうち、最も多かった組み合わせは、無地のズボンの学ランで、182人の生徒が選んだ。次に意見が多かった組み合わせは、無地のズボンのブレザーで88人の生徒が選んだ。

以上のアンケート結果より、武生高校の男子生徒の多くは、今の武生高校の制服である学ランを着たいと考えていることがわかった。

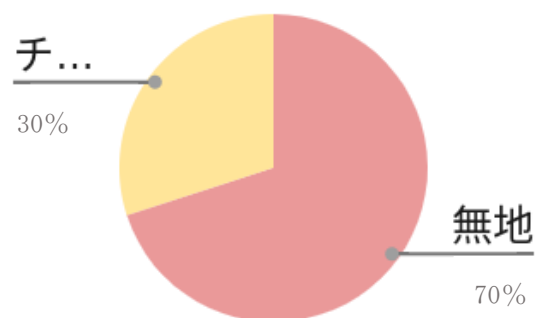


図13 ブレザー選択者の理想のズボンの柄

※チ:チェック (n=10)

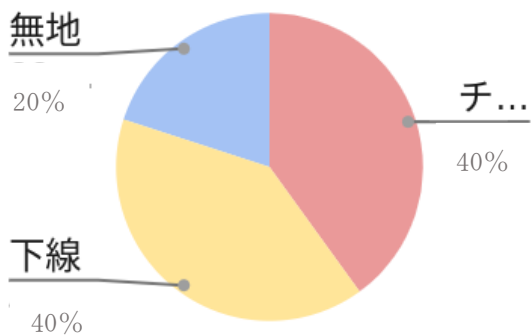


図 14 セーラー服選択者の理想のスカートの柄
※チ:チェック (n=5)

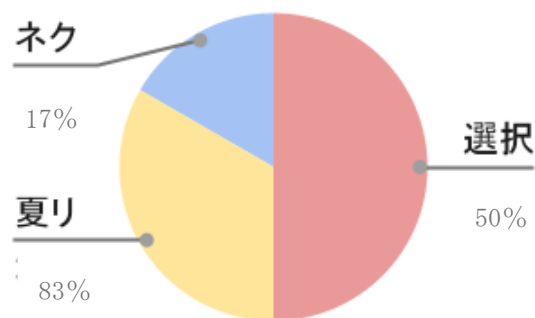


図 17 ブレザー服選択者の理想のリボンの形
※夏リ:夏リボン, ネク:ネクタイ (n=5)

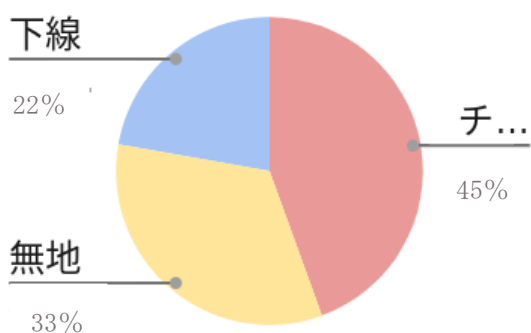


図 15 ブレザー選択者の理想のスカートの柄
※チ:チェック (n=6)

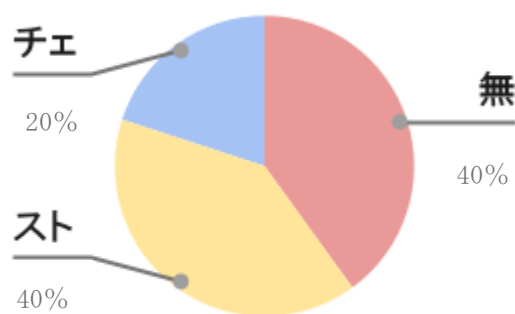


図 18 セーラー服選択者の理想のリボンの柄
※無:無地, スト:ストライプ, チェ:チェック (n=5)

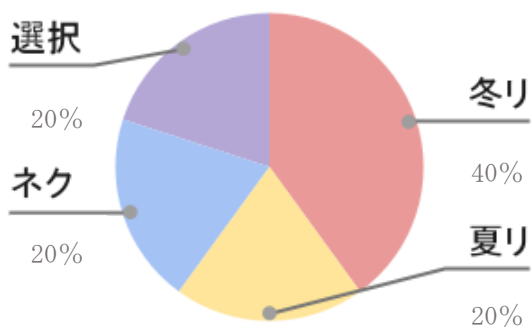


図 16 セーラー服選択者の理想のリボンの形
※冬リ:冬リボン, 夏リ:夏リボン, ネク:ネクタイ (n=6)

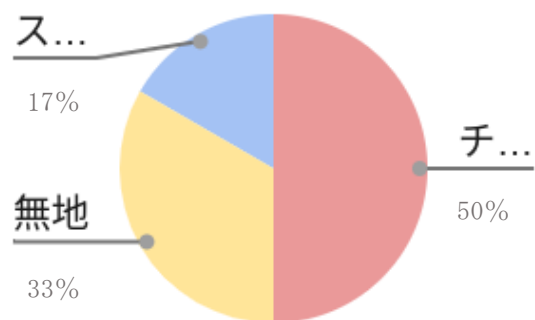


図 19 ブレザー選択者の理想のリボンの柄
※チ:チェック, ス:ストライプ (n=6)

性別を選択しなかった「その他」の 28 人の理想の制服としては、無地のズボンのブレザーがいいと答えた人が 7 人、無地のズボンの学ランがいいと答えた人が 4 人、チェック柄のズボンのブレザーがいいと答えた人が 3 人と様々な意見があった。

7.考察

これらの結果から、新制服のデザイン案を作製した。

before

after

before

after



女子の制服で改善した箇所は、リボンを武生高校の冬用リボンから、夏用リボンへと統一した。また、ダブルボタンをシングルに変更した。さらに、ボタンがけを3つがけから2つがけにした。加えて、アンケートにボタンの色を金色に変えてほしいとの要望があったため、アクセントとして取り入れてみた。また、女子はスカートをチェック柄にしてほしいという人が多くいたため、スカートはチェック柄と無地のデザインをそれぞれ用意した。

男子の制服で改善した箇所は、まずは学ランからブレザーへと制服の型を変えた。次に、ネクタイを採用した。ズボンは女子と同じように、チェック柄と無地の2パターンをデザインした。その他の変更点は女子と同じである。また、男子の制服のデザインは、女子生徒がスラックスを選択したときとほぼ同じようなデザインになっており、リボンとネクタイを選択可能にすれば、制服における男女の差をかなり埋めることができるように思われる。

8. 結論

男子はデザインに関して特に不満はなく主に値段に注目しており、女子はデザインや機能性に関してたくさんの意見を持っていた。今の武生高校の制服は性差を非常に感じやすいと言う意見もあった。このことより、①より性差を感じにくいデザイン②生徒の要望を取り入れつつ、これから先の未来にも流行などに左右されずに着続けられるデザイン③奇抜な色・柄や、大幅に値上がりすることのないデザインが求められる。

9. 今後の課題

今回は主に、制服を変更する方法などの情報収集、新制服のデザイン案の作製を行ったが、その活動の際に3つの疑問が浮かんだ。

1つ目の疑問点は、武生高校の制服のデザインがダサい、と言われる理由の1つとして、現代の高校生と、現在の制服ができた当時の高

校生との骨格の違いからなのではないか。今の武生高校の制服を着ている写真を参考に、ペンタブレットを使って描いていた際、現在の制服は、ブレザーの丈が長すぎるせいで胴長に見えることに気がついた。近年の日本人は、栄養や衛生状態の改善によって、平均身長が伸びてきている。68年前の制服が現在の高校生の体格に合っていないから、制服がダサい、と言われているのかもしれない。ブレザーの裾を少し上げるだけでも、かなり見た目は改善されそうである。

2つ目の疑問点は、新制服のデザイン案を作製する際、どこまで男女の差を埋めればいいのかである。ジェンダーレスという観点からデザイン案を作成するとすると、極端な話、全員ブレザーにスラックスでも良いのである。しかしそれは、スカートを履きたい女子生徒にとってはブーイングものである。また、これは制服だけでなく、スーツにも言えることだが、男女でボタンの位置が違うのも考えものである。男性は自分から見て右側、女性は自分から見て左側にボタンがついている。見た目ではあまり違いがないように見えるが、デザイン案を作成する際に、男女で統一したほうがいいのか、それとも今まで通りでいいのか、かなり悩んだ。今回のデザイン案では、今までと同じように男性は右側、女性は左側にボタンをつけることにしたが、まだまだ議論の余地はありそうである。

3つ目の疑問点は、制服やリボン、ネクタイの色をどうすればいいのかである。もちろん今までの色合いでも十分良いが、色違いのデザイン案を用意して、アンケートを行ってみても良いのではないか、と思った。

今回の研究では、この疑問点を解決するには至らなかったため、ぜひ研究を引き継いで、よりよい制服を作成してほしい。

10. 参考文献

株式会社山耕からの資料

11.謝辞

仁愛大学准教授 織田暁子先生

山耕株式会社 森弘祐様

県内:福井県立美方高校

福井県立勝山高校

福井県立丹生高校

県外:埼玉県立川越初雁高校

長崎県立大村高校

長崎県立猶興館高校

長崎県立島原高校

長崎県立北陽台高校の先生方

